

平成25年度 鹿児島県医師会在宅医療提供体制推進事業

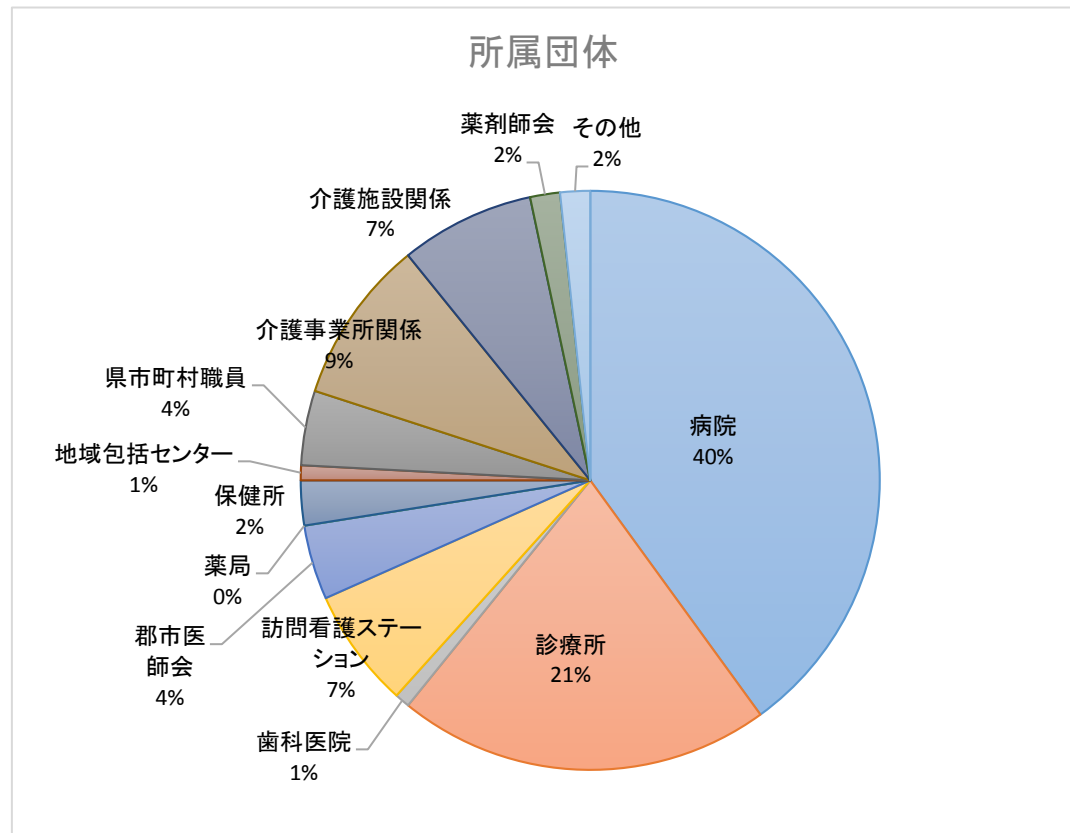
3/11研修会 アンケート 回答者総数120/164名 回答率73%

# 全体

所属

所属と職種をお答えください

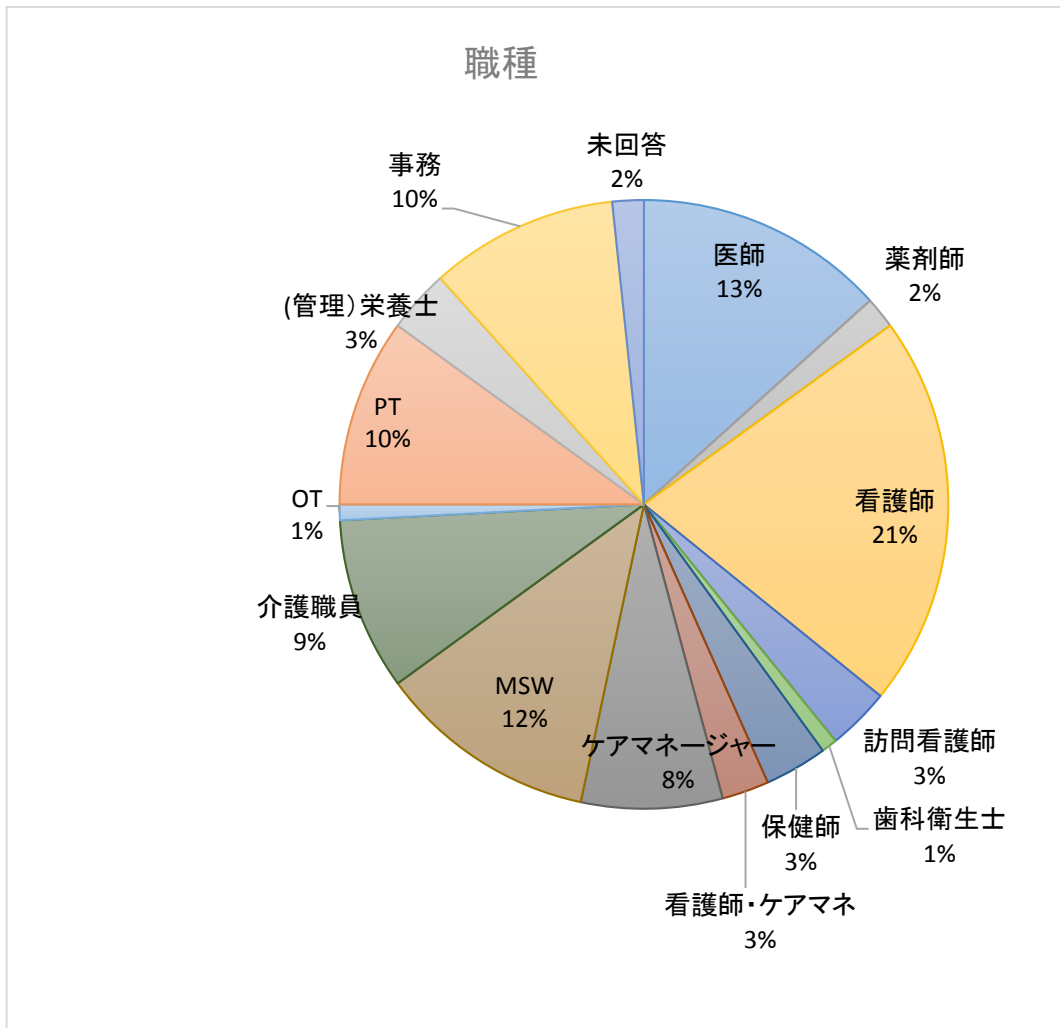
病院	48人	40%
診療所	25人	21%
歯科医院	1人	1%
訪問看護ステーション	8人	7%
郡市医師会	5人	4%
薬局	0人	0%
保健所	3人	3%
地域包括センター	1人	1%
県市町村職員	5人	4%
介護事業所関係	11人	9%
介護施設関係	9人	8%
薬剤師会	2人	2%
その他	2人	2%
	120	



職種

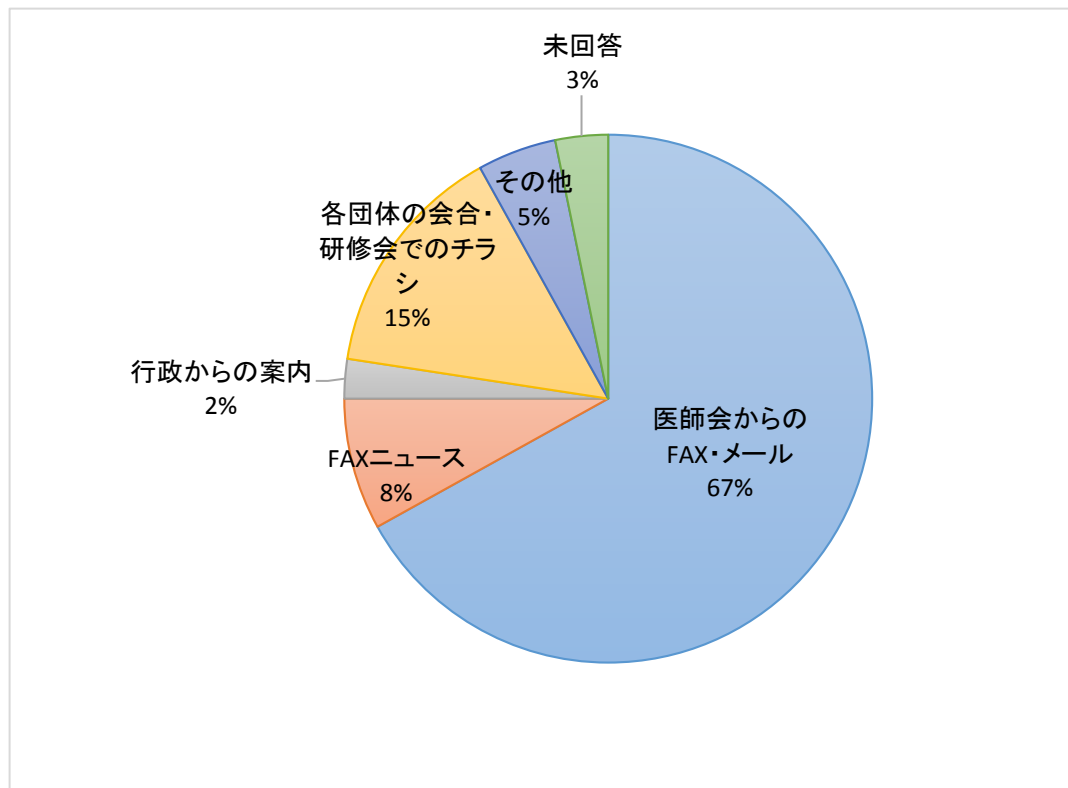
複数回答あり

医師	16人	13%
歯科医師	0人	0%
薬剤師	2人	2%
看護師	25人	21%
訪問看護師	4人	3%
歯科衛生士	1人	1%
保健師	4人	3%
看護師・ケアマネ	3人	3%
ケアマネージャー	9人	8%
MSW	14人	12%
PSW	0人	0%
介護職員	11人	9%
OT	1人	1%
PT	12人	10%
(管理) 栄養士	4人	3%
事務	12人	10%
未回答	2人	2%
	120	



1 今回の研修会はどのようにしてお知りになりましたか。(複数回答可)

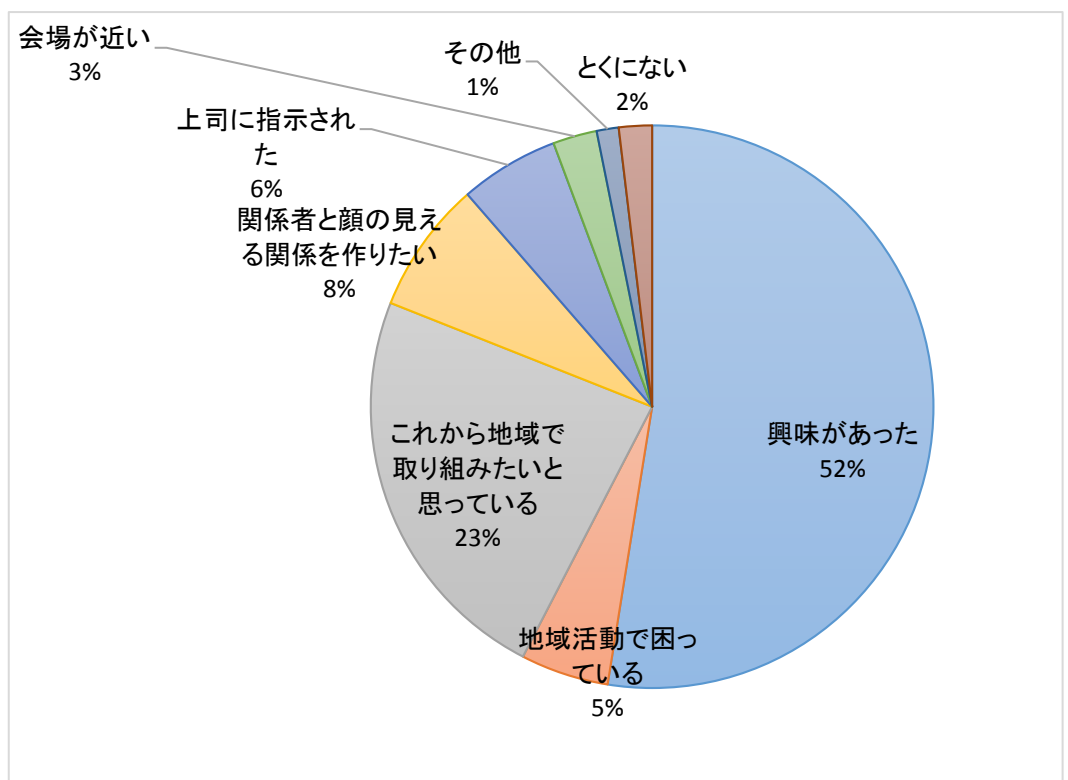
医師会からのFAX・メール	83人	67%
FAXニュース	10人	8%
行政からの案内	3人	2%
各団体の会合・研修会でのチラシ	18人	15%
その他	6人	5%
未回答	4人	3%
	124	



その他：紹介2名、前回研修会配布チラシ1名

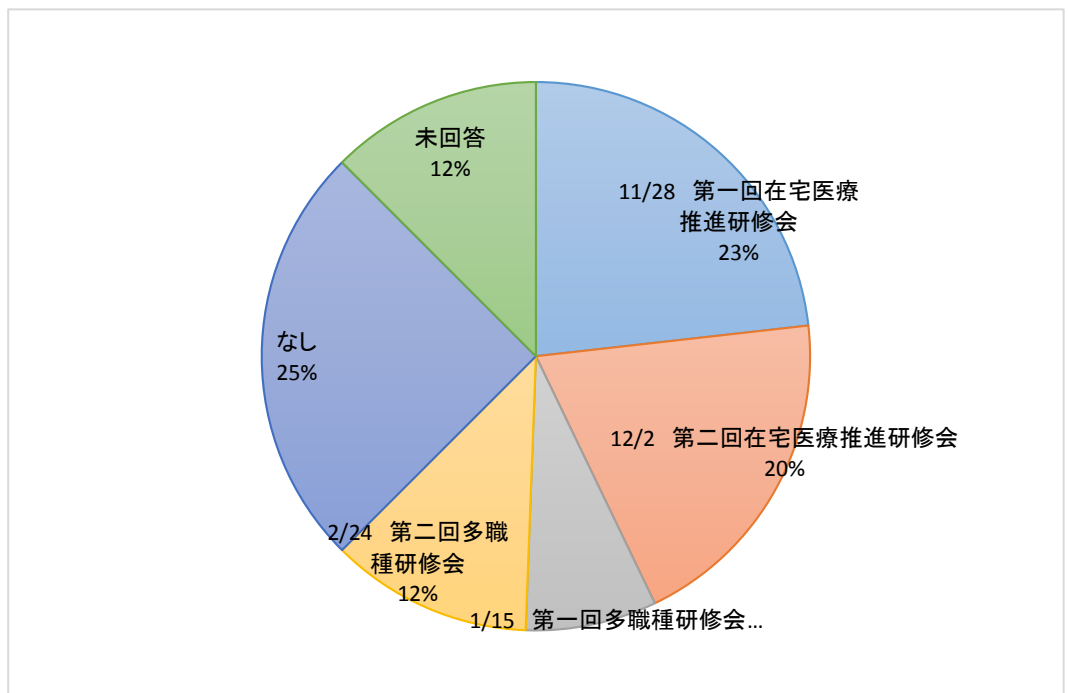
2 研修会に参加しようと思われたきっかけは何ですか。(複数回答可)

興味があった	83人	53%
地域活動で困っている	8人	5%
これから地域で取り組みたいと思っている	37人	23%
関係者と顔の見える関係を作りたい	12人	8%
上司に指示された	9人	6%
会場が近い	4人	3%
その他	2人	1%
とくにない	3人	2%
	158	



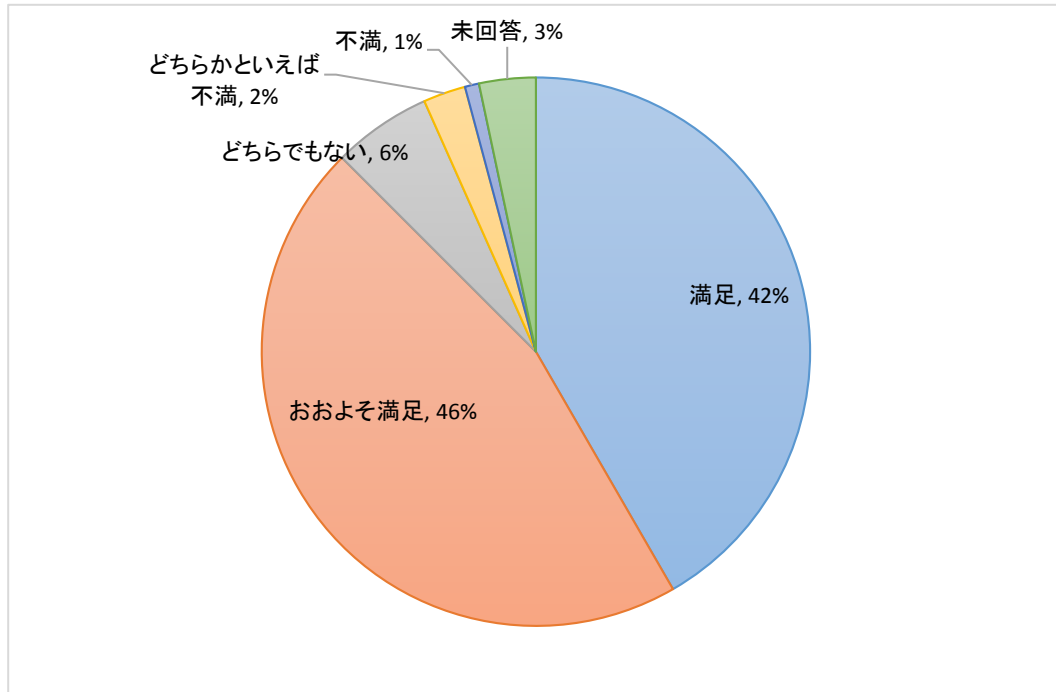
3 これまで当会の在宅医療推進研修会に参加されたことはありますか。(1つのみ回答)

11/28 第一回在宅医療推進研修会	39人	33%
12/2 第二回在宅医療推進研修会	33人	28%
1/15 第一回多職種研修会	13人	11%
2/24 第二回多職種研修会	20人	17%
なし	42人	35%
未回答	21人	18%
	168	



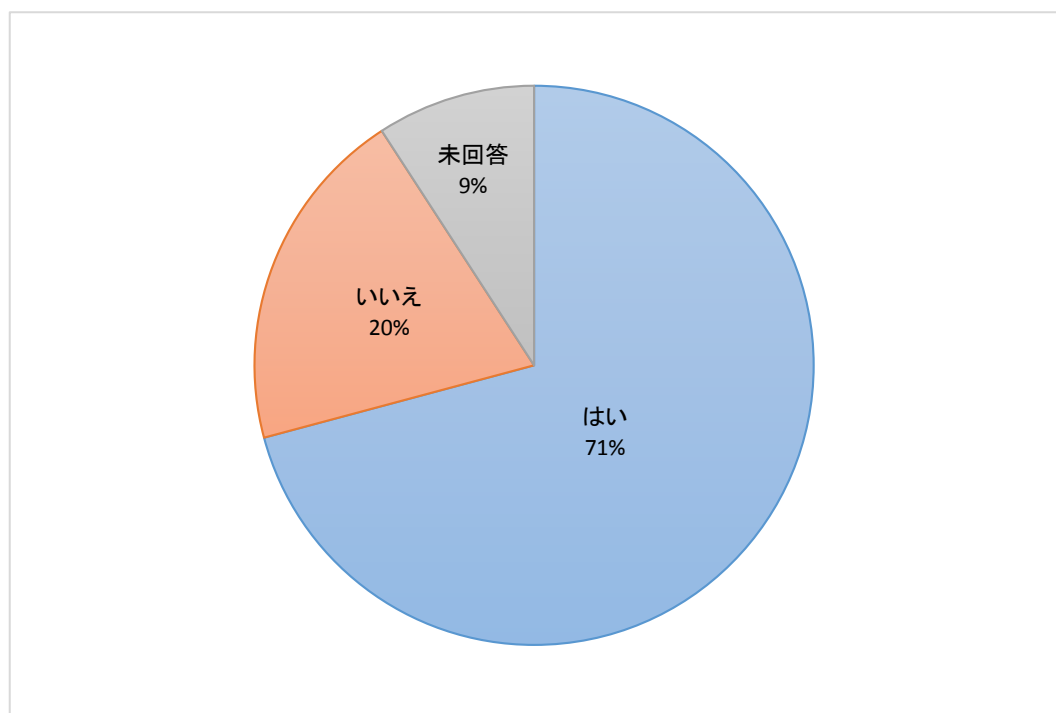
4 本日の研修内容はいかがでしたか。(1つのみ回答)

満足	50人	42%
おおよそ満足	55人	46%
どちらでもない	7人	6%
どちらかといえば不満	3人	3%
不満	1人	1%
未回答	4人	3%
	120人	



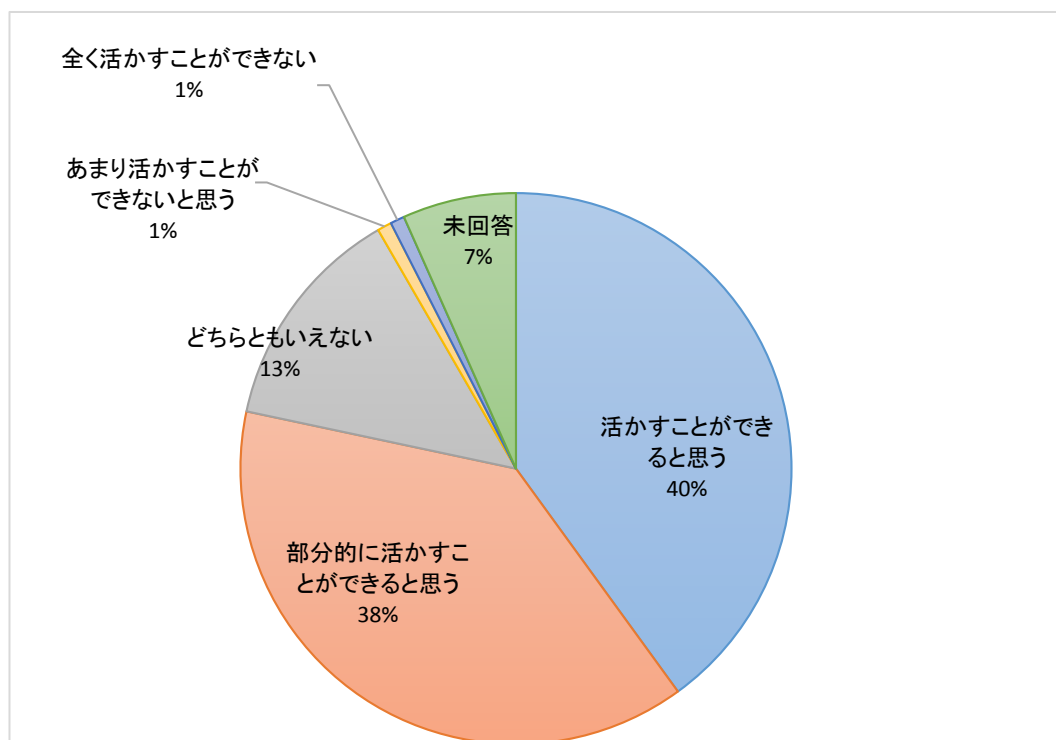
5 あなた、またはあなたの職場は、現在 在宅医療において多職種連携に取り組まれていますか。(1つのみ回答)

はい	85人	71%
いいえ	24人	20%
未回答	11人	9%
	120人	



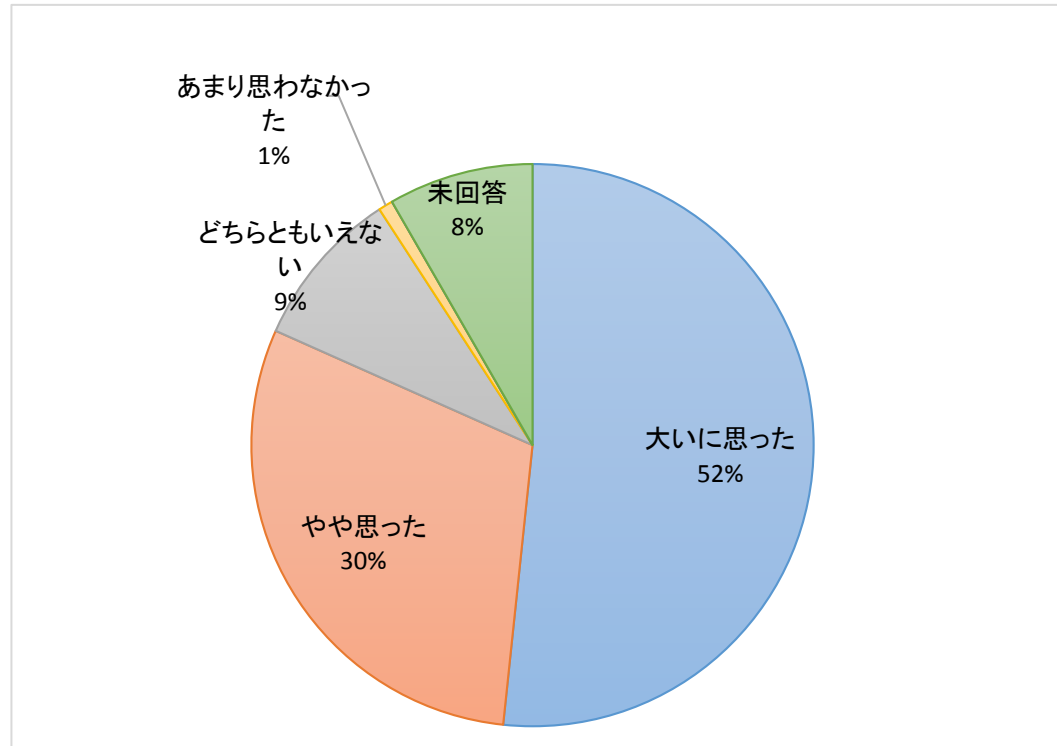
6 本日の内容は、今後多職種との連携に活かすことができそうですか。(1つのみ回答)

活かすことができると思う	48人	40%
部分的に活かすことができると思う	46人	38%
どちらともいえない	16人	13%
あまり活かすことができないと思う	1人	1%
全く活かすことができない	1人	1%
未回答	8人	7%
	120人	



7 本日の研修会を通して、今後在宅医療や連携に取り組もうと思われましたか。(一つのみ回答)

大いに思った	62人	52%
やや思った	36人	30%
どちらともいえない	11人	9%
あまり思わなかった	1人	1%
全く思わなかった	0人	0%
未回答	10人	8%
	120人	



所属	職業	今後、在宅医療を地域で取り組む場合、学びたい情報や知識はありますか。	その他 ご意見やご感想をお聞かせください。
病院	(管理) 栄養士	医師の意識を高める手段	
病院	MSW	多職種連携の仕組み(他医療機関との) や医療機関の在宅医療に対する情報	貴重な講演でした。有難うございました。
病院	MSW	現在MSW1名の体制で業務を行っているのですが、全患者へのスクリーニングができていない状態。病棟Nsと協働しスムーズに退院支援を行うため、私自身地域の資源、在宅医療について今以上に深く学びたい。たとえば、在宅医療でどのレベルまで診ることができるのか。在宅Drは「どんなレベルでも」と言うが、実際家族への負担は大きいので家族へのケアも忘れず様々な知識を持って対応していきたい。	退院支援に係る職種として、院内すべての専門職が「退院」を意識して業務を行う必要がある。今回の退院支援の動きを見て本当に今の自分の病院の動きに歯がゆさを感じた。多職種を巻き込んで在宅支援に取り組んでいこうと改めて思った。
病院	MSW	先ずは地域の医師、多職種の理解が必要だと考えます。顔の見える連携つくりのために、どのような声掛けをしていったらいいか、そして地域の情報の共有化をどのようにされているのか学んでいきたいと思いました。	顔の見える連携の重要性を改めて感じました。多職種協働によるフラットなチーム医療を目指すために多くのことを工夫しながら取り組まれておられ、大変勉強になりました。有難うございました。
病院	OT		訪問リハビリを行っています。主治医・指示医との連携のむずかしさをよく感じています。フラット型の連携ができれば良いと感じました。
病院	PT	医療現場と介護現場との連携の取り方について	このような研修会の広報をもっと広くしてほしい。病院内のシステムの問題かもしれませんが。
介護施設関係	PT	各施設間で情報を共有する場合に、共通の評価・書式等については今後どうなっていくのかを知りたい	
郡市医師会	PT	グループ診療体制を実際に行っている地区・医師会の講演が伺いたいと思います	
病院	医師	・地域のベッド状況(療養型などの受け入れ) ・重度の方(気管切開後など)のショートステイの受け入れ可能な病院	
診療所	医師	医療にもフラット型の組織づくり、情報の共有ができる体制づくりが急務	在宅へ向けた流れに逆行するのではないかと。今回の改定で強化型在宅支援診療所への縛り、少し矛盾しているように思われる。
介護事業所関係	介護職員	医療保険・介護保険の制度の違いについて理解を深めたい	病院・病棟スタッフは在宅(訪問サービス)の役割・機能を多く知らず、その反対もいえること。それぞれの職種についてもっと理解していないと連携も難しいと感じている。
介護事業所関係	介護職員	救命救急の実践をしたい。AEDの使い方などいつでも学べるようにしてもらいたい	
介護施設関係	介護職員	在宅へ向けての利用者様への心のケアの方法	
病院	看護師		とても分かりやすかったです。立ったままのカンファレンス、色別で一目でわかる職種、コメディカルの聴診器、平均在日数11日台、流石だと思いました。当院でも参考にしたいです。
その他	看護師	地域包括ケアシステムはまだ構築中であるが、その進行度と地域住民への情報提供など	
病院	看護師	リエゾンナースに興味があり、もう少しどういったものかを知りたい	連携を図れるシステムができていることが素晴らしい。このような環境を整えば在宅医療に取り組んでみたいと思う。まだまだ思いはあっても取り組むことはむずかしい。
その他	看護師	運営方法、診療報酬との関係	
病院	看護師	訪問看護師の待遇について知りたい。一人で11人の方を持っていますが、緊急連絡も一人で24時間受けています。	
病院	看護師		在宅医療をすすめたいが、Drとの連携が進まず困ることが多い。「Dr中心」と私自身が決めつけていたのかと振り返ることができた。「Pt中心」にDr.ソーシャルワーカー等々連携を進めていきたい。
郡市医師会	看護師	ICT・医療一介護	

所属	職業	今後、在宅医療を地域で取り組む場合、学びたい情報や知識はありますか。	その他 ご意見やご感想をお聞かせください。
介護施設関係	看護師		介護の在宅に関わり始めたところでしたので勉強になりました。遠いところ講演有難うございました。
診療所	看護師 ケアマネ	私はクリニックで、家族とDr,ケアマネとDr,訪問NsとDr間のコーディネートをしています。これってリエゾンナース??かな?他クリニックでもこのような機能を生かされるとケアマネの苦勞が解決できると思います。リエゾンナースについて今後学べればと思います。	理想的でした。Drと多職種がフラットに協力できるところが。最期に合った質問ですが、Ns+ケアマネの資格を持ったスタッフを今後増やせるとよいのではと思いました。
訪問看護ステーション	ケアマネジャー 訪問看護師	多職種連歴のコーディネートとしての役割について在宅医療を行う為のガイドライン・施設基準について在支診・在支病院の強化型について	Drの意識を変えることはとても大変です。温度差がかなりあると思います。Drむけの在宅医療・多職種連携の必要性についての研修会をたくさん開催してほしいと思います。
訪問看護ステーション	訪問看護師		職員の数が多いことに驚きました。訪問看護師としてこの理想的な退院支援ができるように頑張っていきたいと思いました。在宅医療を進めていくためには退院支援システムがしっかりしていなければとつくづく感じました(なかなか増えないので)。
歯科医院	歯科衛生士	歯科に携わっているので在宅医療の現状や多職種の方々の役割を把握しながら歯科が協力していける場を学んでいきたいです。また、ニーズに答えられるよう摂食面の勉強をしていきたいと思っています。	今日この研修会に集まっている方々は、色々な職種の方々ののだろうな…と思いました。ぜひ鹿児島で頑張っておられる皆さんと交流できる機会があれば…と思いました。
郡市医師会	事務		在宅医療の現状、今後に向けての対応等まだまだこれから多岐にわたり勉強が必要であると実感した。
県市町村職員	事務		医療機関の積極的な関与と地域の受け入れ体制作りが並行して充実していかなければと感じた。
診療所	事務	法人外の施設(介護事業所等)と連携した取り組みの実際を聞いてみたい	
診療所	事務	仙台往診クリニックの川島院長の講演が聞きたい	
診療所	事務	在宅医療の現場の流れ、患家の場合や老人ホームの場合等	
県市町村職員	保健師		今後の医療の姿を見せていただけた。大変勉強になった。
介護事業所関係	未回答	訪問看護・訪問介護の支援は一人の患者へ向き合う姿勢は同じ。各々の役割を持って連携をとれば在宅生活が強力なものとなる。介護が先に入り清拭・排泄・更衣を済ませていると、訪問看護が医療の処置がスムーズに実践できる。今後たん吸引・胃ろう等の勉強会も受けていきたいと思う。	お話が分かりやすく、とてもスムーズに入ってきました。きれいな声でした。トップが部下に対して威圧感を与えない雰囲気は大事ですね。トップの笑顔はもっと仕事を頑張ろう、勤め先を好きになるものです。先生の笑顔は安心感を与えてくださいます。有難うございました。
県市町村職員	未回答		在宅医療を行う上での診療所のメリットについて話が聞ければ興味を増すDrも増えるのではないかと。急性期のDr向けに在宅医療の研修をすれば在宅への関心が増すのではないかと
県市町村職員	薬剤師		在宅医療を進めるためには、患者家族の介護力が絶対に必要です。家族を対象とした介護の研修も必要となってくると思います
病院	薬剤師		今回の講演内容は、今から取り組むチーム医療で行う退院支援にすごく役立ちそうです。有難うございました。